

事業の名称

茨城県北中山間地域における地域資源を活用した 「自給的暮らし」の伝承と「起業支援」プログラムの 設立に関する実践的研究 －奥常陸里山里海くらしの地方創生プログラム（仮称）－

〔事業責任者〕

（自治体等側）

高萩市・企画部長 小野 忍

（大学側）

人文学部市民共創教育研究センター・センター長 斎藤 義則

事業テーマ：自治体との連携

連携先

高萩市企画部

プロジェクト参加者

奥常陸「自給的生活と起業」移住支援プログラム
設立検討準備会

会 長：斎藤 義則（茨城大学人文学部市民共
創 教育研究センター
長・教授）

副会長：五十嵐則夫（イガラシ綜業株式会社
代表取締役）

茨城大学人文学部市民共創教育研究センター
馬渡 剛（茨城大学人文学部教授）
小原 規宏（茨城大学人文学部准教授）
廣木 康男（茨城大学人文学部事務長
補佐）

高萩市

茨城県企画部県北振興課

有限会社 佐久間工業

株式会社 常陽銀行高萩支店

茨城県協同組合連合会

株式会社 茨城新聞社

NPO 法人 里山文化ネットワーク

プロジェクトの実施概要

①プロジェクトの目的

茨城県北中山間地域への移住者を増やし地域創生をはかるために、3つのカリキュラム、「自給的暮らしの技の伝承」、「起業方策研修」、「地域課題改善研究・教育」の内容と担当者、開講日程を具体的に検討し、その運営主体を決める。

②連携の方法及び具体的な活動計画

高萩市、茨城県北振興課、地元企業、NPO 等と協力して、奥常陸「自給的生活と起業」移住支援プログラム設立検討準備会を設置し、研究目的の実現に向けた検討を行う。

③期待される成果

本学の中期目標・計画の重点課題の一つである県北中山間地域の振興に寄与し、総合的研究の継続および地域課題改善をめざす教育の場として活用する。

プロジェクトの実施成果

①活動実績

奥常陸「自給的生活と起業」移住支援プログラム設立検討準備会を、平成 27 年 9 月より 28 年 2 月まで 5 回開催して検討を重ねてきた。

②プロジェクトの達成状況

奥常陸「自給的生活と起業」マイスター・プログラムを平成28年10月から開講する予定である。その運営主体として、一般社団法人「奥常陸「移住支援機構(仮)」を平成28年6月に設立する。マイスター・プログラムの内容、受講生の募集要項、実施場所等が決定した。なお研修施設は高萩市里山交流館を利用する予定である。

概要は、別添パンフレット(77p～80p)を参照して下さい。

③今後の計画と課題

- 1) 事務所を確保し、一般社団法人「奥常陸「移住支援機構(仮)」を6月に設立する。
- 2) マイスター・プログラムのカリキュラムを9月までに確定する。
- 3) 10月開講予定のマイスター・プログラムの受講生の募集と受け入れ判定を行う。
- 4) 10月マイスター・プログラムの開講。

■ マイスタープログラム開講の趣旨

- 1 人間性を失いつつある現代社会
 - ①過度な管理社会による孤独感
 - ②過密で人工的な生活空間によるストレス
 - ③消費に依存したライフスタイルと格差の拡大
- 2 奥常陸（茨城県北）地域の居住地特性
 - ①恵まれた自然環境
 - ②ゆとりある生活空間
 - ③環境共生型のライフスタイル
 - ④親密で共助の人間関係
- 3 自然と共生するライフワークバランスのとれた生活への転換のために
 - ①環境共生型の自給的^{くらし}生活の技を学ぶ
 - ②生活を支える自分の好きな仕事をつくる
 - ③親密で助け合うコミュニティに所属する
 - ④地域課題の改善に寄与する地域活動を行う



2

奥常陸「自給的^{くらし}生活と起業」 マイスター・プログラム

— あなたの人生の主人公になりませんか —



平成 28 年 3 月

茨城大学人文学部市民共創教育研究センター
奥常陸「自給的^{くらし}生活と起業」移住支援プログラム設立検討準備会

■プログラムの構成と起業探求科目（ゼミナール）のテーマ

プログラムの構成

1 講義：自給的生活養成科目＋起業探求科目

1日目（土）午前（10：00～12：00）

2 実習・調査

1日目（土）午後（13：00～16：30）

3 交流会

1日目（土）夕方（17：30～20：00）

4 起業探求科目（ゼミナール）

2日目（日）午前（9：00～12：00）

5 地域文化講座もしくは自主活動（希望者）

2日目（日）午後（13：00～）

テーマ

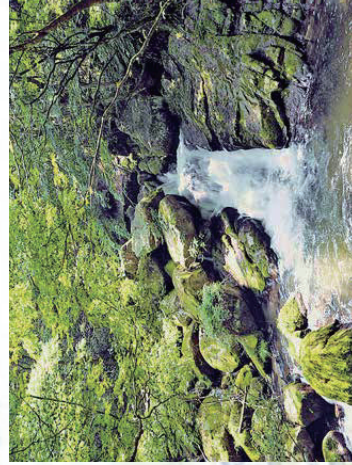
1 奥常陸の食材加工による起業提案と事業化計画

2 自給的ライフスタイル発信によるニューツーリズム起業提案と事業化計画

3 山林資源活用による起業提案と事業化計画

4 地域課題改善による起業提案と事業化計画

5 その他



4

■プログラムの概要

1 自給的生活の技を学ぶための研修

2 自分で仕事をつくるための研修

3 地域文化を理解するための研修

4 起業提案と移住計画を自主的に作成するためのワークショップ型ゼミナールによる研修

5 関連する調査・実習など

■研修拠点施設

茨城県高萩市里山交流館

高萩市上君田715-1

常磐道高萩ICより車で30分



3

■募集要項

1 求める人材像

- ① 中山間地域で自然と共生するライフワークバランスのとれた生活を実現したい人。
- ② 地域資源を活用した加工業や生業を起業して自分の夢を実現したい人。
- ③ 地域創生とコミュニティ活動に意欲的に取り組みたい人。
- ④ 奥常陸で生活したい人。

2 応募資格

求める人材像に該当する人。履歴書と受講希望理由書を提出する。

3 募集人数と受講料

- ① 募集人数は 30 名程度
 - ② 受講料は半期 10 万円
 - ③ 宿泊費、交流会参加費は別途必要
- ※ 茨城大学大学院人文科学研究所大学院生は受講料無料で受講できます。

4 受け入れ判定

応募者の受講希望理由等、及び面接により受け入れの可否を判定する。

(面接の内容)

受講希望理由及び奥常陸（高萩市を中心とする茨城県北地域）への将来の移住意向とその理由、希望する仕事、ライフスタイル等について面接を行う。

5 修了試験

起業提案と移住計画等の計画書とプレゼンテーションにより判定する。

6 修了者

- ① 奥常陸「自給的生活と起業」マイスタープログラム修了証を授与する。
- ② 移住と起業等に関する相談と支援を受けることができる。
- ③ その他

6

■カリキュラム（予定）

開講期間

前期：4 月～7 月、土・日・1 泊 2 泊、隔週開講、全 8 回（16 日）、平成 29 年度より実施
後期：10 月～1 月、1 泊 2 泊、土日隔週開講、全 8 回（16 日）、平成 28 年度より実施

カリキュラム（後期）

第 1 回	
10 月第 1 土曜日	自然遊びについて 山・海・川遊び実習
10 月第 1 土曜日夕方	自然の恵みと郷土食について 山菜取り・川魚・郷土食実習
10 月第 1 日曜日午前	交流会：自己紹介と感想・意見交換 セミナー：循環型くらしの目標と地域創生テーマの設定
第 2 回	
10 月第 3 土曜日	食料の自給について 農作業実習
10 月第 3 土曜日夕方	地域資源の 6 次産業化推進 既存地元事業所のヒアリング
10 月第 3 日曜日午前	交流会： セミナー：
第 3 回	
11 月第 1 土曜日	地域資源のブランド化戦略 農林畜産物加工場等のヒアリング
11 月第 1 土曜日夕方	交流体験からニューツーリズムへ ニューツーリズムへの展開可能性調査
11 月第 1 日曜日午前	交流会： セミナー：
第 4 回	
11 月第 3 土曜日	奥常陸マイスター祭 — 花国牛祭 —
11 月第 3 土曜日夕方	
11 月第 3 日曜日午前	
11 月第 3 日曜日午前	地域資源を活用した起業の課題検討
第 5 回	
12 月第 1 土曜日	エネルギーの自給について 薪割り・炭焼き・チエンソー実習
12 月第 1 土曜日夕方	IT 活用による世界市場へ 流通と世界市場のニーズ調査
12 月第 1 日曜日午前	交流会： セミナー：
第 6 回	
12 月第 3 土曜日	自給的生活の技について 自給的生活農家の見学
12 月第 3 土曜日夕方	奥常陸の資源と地域課題 地域資源を活用した起業提案
12 月第 3 日曜日午前	交流会： セミナー：
第 7 回	
1 月第 2 土曜日	農山村コミュニティについて コミュニティ活動実習
1 月第 2 土曜日夕方	空き家の利活用について コミュニティ活動実習
1 月第 2 日曜日午前	交流会： セミナー：
第 8 回	
1 月第 4 土曜日夕方	プレゼン手法 プレゼン準備「地域創生探求科目テーマ」
1 月第 4 土曜日夕方	公開プレゼン「地域創生探求科目探求テーマ」＋交流会
1 月第 4 日曜日午前	「地域創生探求テーマ」実現化の課題（確認）
2 月第 1 土曜日午後	修了式

5

■問い合わせ

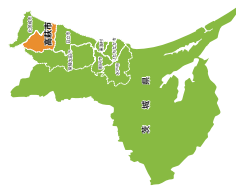
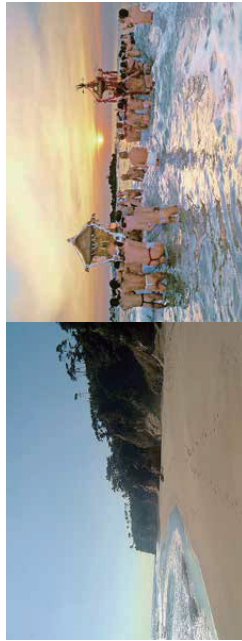
茨城大学人文学部市民共創教育研究センター 斎藤義則研究室
 メール：yoshinori.saito.tahti@vc.ibaraki.ac.jp
 高萩市企画部企画広報課
 電話：0293-23-2118
 メール：kikaku@city.takahagi.lg.jp

■運営主体（予定）

一般社団法人 奥常陸移住支援機構（仮称・平成 28 年 6 月予定）
 住所：茨城県高萩市内（平成 29 年度予定）
 茨城大学内（平成 28 年度予定）

■開講日（予定）

平成 28 年 10 月 1 日



編集・発行 奥常陸「自給的生活と起業」移住支援プログラム設立検討準備会
 会長：斎藤 義則（茨城大学人文学部市民共創教育研究センター長・教授）
 副会長：五十嵐則夫（イガラン経営株式会社 代表取締役）
 茨城大学人文学部市民共創教育研究センター
 馬渡 剛（茨城大学人文学部教授）
 小原朝宏（茨城大学人文学部准教授）
 廣木康男（茨城大学人文学部事務長補佐）
 高萩市
 茨城県企画部東北振興課
 有限会社 佐久間工業
 株式会社 常磐銀行高萩支店
 茨城県協同組合連合会
 株式会社 茨城新聞社
 NPO 法人 里山文化ネットワーク
 FUTUREVISION

■修了者の移住・起業・生活支援体制

- ①移住を希望する人に空家を仲介します。
- ②移住者の生活（くらし）を支援（相談）するメンターを紹介します。
- ③仕事をつくるための起業相談、就職相談、融資相談、経営相談などを行います。
- ④その他、必要に応じて相談に応じます。

